

## 平成 22 年の気象概況

( 1 月 )

上旬から中旬前半にかけて、冬型の気圧配置が続きましたが、中旬の後半は高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。下旬は短い周期で天気が変わりました。冬型の気圧配置が強まった 1 日は、飛騨北部及び岐阜・西濃や中濃の山地を中心に大雪となりました。また、13 日から 14 日にかけて、美濃地方の山地や飛騨地方では所々で大雪となりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年並みとなりました。月降水量は岐阜では平年並み、高山では平年より多くなりました。月間日照時間は岐阜では平年より少なく、高山では平年並みとなりました。

【上旬】冬型の気圧配置が続き、山地を中心に雪が降りました。冬型の気圧配置が強まった 1 日は、飛騨北部及び岐阜・西濃や中濃の山地を中心に大雪となりました。

【中旬】旬の前半は、冬型の気圧配置や気圧の谷などの影響により、曇りとなり、所々で雨や雪が降りました。冬型の気圧配置が強まった 13 日から 14 日にかけて、美濃地方の山地や飛騨地方では所々で大雪となりました。旬の後半は、高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

【下旬】この旬は、短い周期で天気が変わりました。平均気温は岐阜、高山ともに平年より高く、降水量は岐阜では平年より多く、高山では平年より少なくなりました。日照時間は岐阜では平年よりかなり少なく、高山では平年並となりました。

( 2 月 )

上旬から中旬にかけては、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響により、所々で雨や雪が降った日が多くなり、短い周期で天気が変わりました。下旬の前半は高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりましたが、後半は低気圧や前線の影響により、天気が周期的に変化しました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年より高く、月降水量は岐阜では平年よりかなり多く、高山では平年より多くなりました。月間日照時間は岐阜、高山ともに平年よりかなり少なくなりました。

【上旬】冬型の気圧配置や気圧の谷などの影響により、所々で雨や雪が降りました。冬型の気圧配置が強まった 6 日は、山地を中心に平地でも断続的に雪が降りました。

【中旬】短い周期で天気が変わりました。

【下旬】旬の前半は移動性高気圧に覆われ、晴れて暖かな日が多くなりました。旬の後半は低気圧や前線の影響により、短い周期で天気が変わりました。

( 3月 )

月を通して、天気は短い周期で変わり、上旬は曇りや雨の日が多くなりました。下旬は寒気の影響などにより、山地を中心に曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年より高く、月降水量は岐阜では平年より多く、高山では平年よりかなり多くなりました。月間日照時間は岐阜では平年より少なく、高山では平年よりかなり少なくなりました。

【上旬】天気が周期的に変わり、曇りや雨の日が多くなりました。

【中旬】天気が短い周期で変わりました。

【下旬】天気が短い周期で変わり、寒気の影響などにより、山地を中心に曇りや雨の日が多くなりました。

( 4月 )

上旬及び中旬の後半から下旬にかけては、天気が周期的に変化しました。中旬は低気圧や気圧の谷などの影響により、曇りや雨の日が多くなりましたが、下旬は高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

月平均気温は岐阜では平年よりかなり低く、高山では平年より低く、月降水量は岐阜では平年よりかなり多く、高山では平年より多くなりました。月間日照時間は岐阜ではかなり少なく、高山では平年より少なくなりました。

【上旬】天気が周期的に変化しました。

【中旬】低気圧や気圧の谷などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

【下旬】天気が周期的に変化しました。中頃を中心に、高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりましたが、22日及び27日は低気圧の影響により、終日雨となりました。

( 5月 )

上旬や中旬は高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりましたが、中旬の始めと終わり頃及び下旬の前半から中頃にかけては、低気圧や気圧の谷などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜では平年より高く、高山では平年並で、月降水量は岐阜では平年より多く、高山では平年より少なくなりました。月間日照時間は岐阜では平年より多く、高山では平年並となりました。

【上旬】高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

【中旬】高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、旬の始めと終わり頃は、低気圧や気圧の谷などの影響により曇りや雨となりました。

【下旬】前半から中頃にかけて、低気圧や気圧の谷などの影響により、曇りや雨の日が多くなりましたが、その後は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。23日から

24日にかけては、アメダス観測点の御母衣（大野郡白川村）やひるがの（郡上市）で2日間の日降水量合計が200mmを超えるなど所々で大雨となりました。また、25日夕方から夜遅くにかけては、中濃や東濃を中心に非常に激しい雨が降り、アメダス観測点の美濃加茂では25日19時43分までの1時間に55.0mmの降水量を観測し、5月としての極値を更新しました。

#### （6月）

上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、中旬以降は梅雨前線の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年よりかなり高くなりました（高山では、6月の月平均気温が20.6度となり、統計開始（1899年）以来第3位となりました。）。月降水量は岐阜では平年より多く、高山では平年並となり、月間日照時間は岐阜では平年並で、高山では平年より多くなりました。

また、名古屋地方気象台は13日、「東海地方は6月13日ごろ梅雨入りしたとみられます。」と発表しました。平年の梅雨入りは6月8日ごろで、昨年の梅雨入りは6月3日ごろでした。

【上旬】高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、7日から8日にかけては、気圧の谷や上空の寒気の影響により、全般に曇りや雨となりました。

【中旬】梅雨前線の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

【下旬】梅雨前線の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

#### （7月）

この月は、上旬から中旬の中頃にかけて、梅雨前線や上空の寒気などの影響により、曇りや雨の日が多くなりましたが、中旬の終わり頃以降は高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年よりかなり高くなりました。月降水量は岐阜、高山ともに平年より多く、月間日照時間は岐阜では平年より多く、高山では平年並となりました。

【上旬】梅雨前線や上空の寒気などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

【中旬】梅雨前線の影響により、16日まで雨の日が続き、しばしば大雨となりました。15日夜には河川のはん濫や土砂災害などの被害が多数発生しました。その後は高気圧に覆われ、晴れの日が続きました。

【下旬】高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりましたが、29日は県内全域で雨となりました。

( 8 月 )

上旬の前半から中頃にかけては、高気圧に覆われ概ね晴れましたが、上旬の終わり頃から中旬の前半にかけては台風や湿った空気の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。中旬の後半から下旬にかけては、高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年よりかなり高くなりました。月降水量は岐阜では平年並、高山では平年より少なくなりました。月間日照時間は岐阜、高山ともに平年より多くなりました。

【上旬】前半から中頃にかけては、高気圧に覆われ、概ね晴れましたが、湿った空気の影響により所々で曇りや雨となりました。終わり頃は湿った空気の影響により、曇りや雨となりました。

【中旬】前半は台風第 4 号や湿った空気の影響により曇りや雨の日が多くなりましたが、後半は高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

【下旬】高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりました。

( 9 月 )

上旬から中旬にかけては、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、下旬は低気圧や前線などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年よりかなり高くなりました。月降水量は岐阜では平年並、高山では平年より多く、月間日照時間は岐阜では平年よりかなり多く、高山では平年より多くなりました。

【上旬】高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、7日昼過ぎから8日夕方にかけては、台風第9号の接近・通過により、岐阜・西濃を中心に大雨となりました。

【中旬】高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、15日から16日にかけては気圧の谷や南からの湿った空気などの影響により、雨となりました。

【下旬】低気圧や前線などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

( 10 月 )

上旬は天気が周期的に変わり、中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、下旬は前線や低気圧などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年よりかなり高くなりました。月降水量は岐阜、高山ともに平年より多く、月間日照時間は、岐阜、高山ともに平年より少なくなりました。

【上旬】天気が周期的に変わり、3日夕方から4日昼前にかけて及び9日は低気圧や前線などの影響により全般に雨となりました。

【中旬】高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。14日後半から15日にかけてと17日前半及び20日は、低気圧や気圧の谷などの影響により曇りとなり、所々で雨が降りました。

【下旬】前線や低気圧などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

(11月)

上旬のはじめ頃と終わり頃及び中旬の前半は、冬型の気圧配置や低気圧などの影響により、曇りや雨の日が多くなりました。その他の期間は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、平野部を中心に晴れの日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年並となりました。月降水量は岐阜、高山ともに平年より少なく、月間日照時間は岐阜、高山ともに平年より多くなりました。

【上旬】はじめ頃と終わり頃は、冬型の気圧配置や低気圧の影響により、全般に曇りや雨となりました。中頃は、冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、美濃地方では概ね晴れとなりましたが、飛騨地方では曇りや雨となった日がありました。

【中旬】前半、前線や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多くなりましたが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。岐阜では12日から15日にかけて黄砂を観測しました。11月としては2005年11月8日以来5年ぶりの観測となりました。

【下旬】冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、平野部を中心に晴れの日が多くなりました。22日は前線や低気圧の影響により、全般に雨となりました。岐阜地方気象台では、29日に「初霜」を観測しました。平年(11月16日)より13日遅く、昨年(12月8日)より9日早い観測となりました。

(12月)

上旬は天気が周期的に変わりましたが、中旬から下旬にかけては前線や寒気などの影響により、曇りや雨・雪の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山ともに平年より高くなりました。月降水量は岐阜、高山ともに平年よりかなり多く、月間日照時間は岐阜、高山ともに平年より少なくなりました。

【上旬】天気が周期的に変わりました。2日夜遅くから3日にかけては、全般に雨となり、3日の岐阜の日降水量は62.0mmを観測し、統計開始(1883年)以来第1位となりました。9日は飛騨地方を中心に雪が降り、アメダス観測点の白川(大野郡白川村)では、最深積雪13cmを観測しました。

【中旬】前線や寒気などの影響により、曇りや雨・雪の日が多くなりました。15日から18日にかけて飛騨北部を中心に雪が降りました。

【下旬】冬型の気圧配置となった日が多く、21日から22日、28日及び30日には低気圧や前線の影響により、曇りや雨・雪の日が多くなりました。24日から25日にかけてと31日は、冬型の気圧配置が強まり、山間部を中心に大雪となり、31日は平野部でも所々で積雪となりました。